



JR東日本に働くすべての労働者のために 全組合員でたたかいを創り出そう!



JR東日本労働組合新潟地方本部
第6回定期大会

JR東日本労働組合新潟地方本部は8月26日、新潟東映ホテルにおいて、約180名の組合員が集結するなか、第6回定期大会を開催しました。
代議員の真摯な議論と傍聴者の応援により、熱気あふれる大会となりました。職場で取り組んできた1年間のたたかいの総括を行い、その教訓を確認し合うと共に、向こう1年間の新たな方針を打ち立てました。



新たな仲間と共に更なる組織の強化拡大を実現しよう!

新潟地方本部・星山執行委員長あいさつ

この1年は激変の1年だった。大きな変化に対して私たちはどの様に対応できたのか。1人ひとり弱い労働者であるからこそ団結して経営側に立ち向かう。組合員や仲間を不利益や理不尽から守るために、いかに組織として全組合員で取り組めたのかを振り返ろう。

営業、設備、運輸、JR採用、シニア、そしてエルダー社員など、それぞれの系統や年代の皆さんに、東日本ユニオンを選択して加入していただいた。要求実現のためには組織の力が必要であり、組織を拡大するためには要求を実現しうる組織の運動が必要だ。JRで働く仲間のつながりを大切に、新たな仲間と共に職場から全組合員でたたかいを創り出していこう。

仲間の利益を守るための具体的なたたかいを共有

13名の代議員が職場からのたたかいを発言

質疑では13名の代議員から発言を受けました。

組織の強化・拡大に向けた取り組みの成果と課題、職場の問題を解決するために積み重ねた地道な取り組み、会社施策に対して安全や健康、労働者の利益をはじめ様々な角度から行った検証、職場に労働組合に所属しない社員が多数を占める状況においていかに組合員や仲間の利益を守るのかの模索など、いずれもが具体的な実践を通じて、この1年間で得てきた教訓に富んだものでした。



組合員を主人公とした真のJR労働運動を創造していこう!